

## 小・中学生が百人一首で対決

17日、杉並区立和泉中学校(和泉2-17-14)では、新春の百人一首大会が開催されました。今回で3回目となる大会には、中学生49名と隣接する和泉小学校の児童70名が参加し、和気あいあいとした楽しい交流の時間を過ごしました。

17日午後1時30分から、杉並区立和泉中学校体育館で、新春の百人一首大会が行われました。この百人一首大会は、平成24年から行われているもので、今回が3回目。同じ地域にある小中学生の交流を目的に始めました。

この日は、和泉中学校の1・2年生49名と隣接する和泉小学校の6年生70名が参加。和泉小学校は、800mほどの距離にある区立新泉小学校とともに、平成17年4月から和泉中学校の小中一貫教育校の関係にあります。これは、義務教育の9年間を連続した学びを行うことで、児童・生徒の学力と生きる力をはぐくむことを目指しています。区立では初の小中一貫教育校で、この7年間で教員の情報共有や児童・生徒の様々な機会での交流を重ねてきました。さらに、平成27年4月には、和泉小学校・中学校の敷地に、新校舎建設も予定されています。

本日の百人一首大会も、この交流の一つで5・6時間目の授業の時間を使って行われました。20のグループに分かれ、小学生と中学生がそれぞれ5人ほどで、何枚の札が取れるかを競い合いました。読み手は、杉並カルタの会が協力してくれました。「ちはやぶる かみよもきかず たつたがは・・・」と上の句を詠みあげると、中学生・小学生が競うように札を取っていました。また、杉並カルタの会のメンバー同士の模範演技では、激しい札の取り合いに、小中学生から驚きの声が出るなど、終始和気あいあいとした笑いの絶えない大会となりました。



【問合せ先】 和泉中学校 3322-7671  
総務部広報課 3312-2111